

ブロック連絡会会長 各位
都道府県協会事業担当者 各位

一般財団法人日本ドッジボール協会事務局

2023年度シニアチャンピオンシップの運営ガイドラインについて

平素より当協会事業にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。

シニアチャンピオンシップは、上位大会に繋がる予選大会という位置付けとなりますので、各予選大会の該当カテゴリーは同一のレギュレーションで競技運営を行い、上位大会への代表チームを選出していただくために、大会運営上の共通事項を定めたガイドラインを以下のとおり設定いたします。

(1) 実施カテゴリーについて

予選会として位置付けるカテゴリーは、『ファイターの部』『女子の部』『U15の部』の3部門となります。

大会により、名称の異なるカテゴリーで大会運営をする際は、大会要項に当該カテゴリーが上位大会に対応しているカテゴリーであることを明記してください。

(2) レギュレーションについて

別紙『2023年度版シニアカテゴリーレギュレーション』に準じて実施をお願いします。

なお、普及活動の位置付けで未経験者や壮年・中年を対象としたカテゴリー（ふれあいの部等）は別途積極的に実施していただきたいと思っております。このカテゴリーについては、チーム単位だけではなく、個人単位で募集し、当日チームをコーディネートするなど、レギュレーションも含めて柔軟に変更していただいて結構です。

(3) 大会主催について

ブロック連絡会として主催（主管）していただくことを想定していますが、諸条件によりブロック連絡会としての開催が難しい場合は、ブロック内の都道府県協会が主催（主管）をすることができます。また、既存の大会を予選大会として競技運営していただくことも可能です（但し、その場合の当該カテゴリーについては、当協会シニアカテゴリーレギュレーションで競技運営してください）。

(4) 大会名称について

原則として大会名称の一部に『シニアチャンピオンシップ』という言葉を用いてください。また、要項の中に上位大会の予選大会であるということを記載してください。但し、既存の大会で実施する際の大会名称については別途ご相談ください。

(5) 大会参加申込について

2022年度から、各カテゴリーにおける上位大会エントリーにあたっては、web上での手続きを要件としています。

大まかな操作としては、D-1/D-1Gのチームの例（チーム側：チーム登録の後、希望予選へのエントリー。主催者側：大会登録・結果登録と上位大会推薦チームの決定）の流れを予めイメージして頂けると分かりやすいかと思っております。

紙での推薦は受け付けられませんので、予めご了承願います。

(6) 上位大会への出場資格について

仕組み上、上位大会エントリーを希望するチームは、その予選大会にエントリーする前に、全員の競技者登録が必要です。（オープンエントリーに関しての必要条件是主催者の裁量とします。）

なお、予選大会から競技者番号が表示された個人会員証の呈示義務を求めていますので、大会エントリー表と個人会員証の照合を行ってください。一般競技者はピンク色の会員証、中高生競技者はオレンジ色の会員証です。

必要条件を満たさないチームはふれあいの部・エンジョイの等の普及目的の部門での参加とし、上位大会エントリーチームと試合を行うことはできません。

(7) **上位大会エントリーとオープンエントリーについて**

これまでどおり、エントリーする大会は選択可能としています。

①上位大会エントリー

チームとして、当該予選で上位大会進出を目指す場合に選択するエントリーです。試合結果に応じて代表権を得ることが目標ですので、それぞれのチームがこのエントリーを選択できるのは、全ての予選を通じて1回に制限します。

②オープンエントリー

上位大会エントリーの権利を得ずに、出場する際のエントリーです。ファイターの部で対戦できますが、上位入賞をしても代表権はありません。これは参加数を増やすことで大会を活性化させ、参加料収入による大会運営費用を賄うためのものです。

(その他詳細は別紙『チーム編成と出場大会に関する基準(2023年度版)』をご覧ください)

(8) **上位大会出場チーム数について**

・J.D.B.A. 全日本選手権 ファイターの部

ブロックごとに基本枠3チーム + 追加枠 計32チーム

- ❖ ブロック内で開かれる予選会が1回の場合は、大会順位枠(最上位)1チーム、主催者推薦枠2チームを上位大会出場チームとして取り扱ってください。
- ❖ 主催者推薦枠の決定方法については、大会要項等で事前に周知を図ってください。
- ❖ J.D.B.A. 全日本選手権の開催地に属するブロック予選大会については、主催者推薦枠をさらに2チーム追加し、上位大会出場チームとして取り扱ってください。
- ❖ 追加枠については、上位大会エントリーチーム数と、競技者登録数に応じて、該当ブロックを決定します。(詳しくは全日本選手権の大会要項をご覧ください)

・J.D.B.A. 全日本選手権 U15の部

計16チーム(基本枠は下記のとおり)

現段階では、北海道+東北ブロックは計2枠、関東~九州までは各2枠×7ブロックの構成による計16枠を想定していますが、参加状況によって可能な範囲で調整の可能性があります。

- ❖ 現時点では活動傾向の把握が困難なため、各ブロックにおける推薦チームの決定方法については女子の部と同様の取り扱いを想定しています。

・全日本女子総合選手権 女子の部

ブロックごとに基本枠2チーム

仮に全ブロックから2チームの推薦があった場合は18枠となりますが、ブロックごとの開催実績が不安定なため、16チームで計画しています。追加枠が生じる場合も、枠の確定は全ブロックの見通しがした後となりますのでご了承ください。

- ❖ もし上位大会エントリーが1チームしかなく、且つ要項内でのブロック推薦の条件を満たす場合は、予選を行わずに当該チームのブロック推薦を認めます。
- ❖ 16チームを下回った場合は、日本協会理事会の承認を得た上で、予選大会参加チーム数の多い地区に1枠ずつ割り振ります(詳しくは女子総合選手権の大会要項案をご覧ください)

(9) **順位決定方法の周知について**

- a) 予選会における順位決定方法について、あらかじめ大会要項等にて周知を図ってください。
- b) 同一の 카테고리において上位大会エントリーとオープンエントリーの設定が可能なため、大会順位と上位大会の出場順位は必ずしも一致しません。上位大会への出場資格を得る方法はあらかじめ周知する必要があります。
- c) 次点チームや出場資格の増枠が発生することも踏まえたうえで、順位決定方法を大会要項に予め記載してください。
- d) ブロック内で複数の予選会を計画する場合は、事前に要件の調整・確認が必要ですのでお知らせください。

(10) **大会運営費補助について**

S-1/S-1Gエントリー1チームにつき2,000円を主催(主管)ブロックに補助します。

金額は合算し、主催(主管)に対し年度末の支給を予定しています。活動補助金の計算は事務局サイトの大会エントリーチーム数を元に行います。(普及のために独自の 카테고리を実施いただくこ

と自体は全く問題ありません。あくまで送金額の計算方法に関しては統一、という意味合いです)
また、推薦を行わない、または推薦チームが辞退した等、結果的に代表チームの選出が無い場合は、そのブロックの送金はいきませんので予めご了承ください。

(11) **送付物・対応について**

『ファイターの部』『女子の部』『U15の部』入賞チームへの賞状を用意します。**印刷はブロックにてお願いいたします。**

上記カテゴリーへの出場選手数に応じて参加賞（クリアファイル）を用意します。

=手続きについて=

基本的な手続きの流れは、春夏のD1予選の順序と同様です。

①予選大会（シニアチャンピオンシップ）の登録

各ブロックの担当の方は大会をブロックサイト上に登録してください。

ブロックとして実施しない場合は、実施を希望する加盟団体がブロック内で調整のうえで同様に对应してください。

②（①で登録された大会へ）チーム側がチームサイトからエントリー

チームにとって、上位大会エントリーを目指す大会は一度のみとなりますが、プログラムでの自動チェックまではできません。予期せずに複数回の参加とならないよう、web上でのエントリー操作時には「上位大会エントリー」である旨を示すチェック欄を表示を設置していますが、各予選においても注意を促して頂きますようご協力の程宜しくお願いいたします。

③上位大会進出チームの報告

全日本女子総合選手権・J.D.B.A.全日本選手権ともに、予選が終わりましたら、web上のブロックサイトから、推薦チームを確定して頂くようお願いいたします。（操作のイメージは夏春の小学生大会と同様です）

=新型コロナウイルス感染拡大防止対策について=

もし、自治体や施設から再度指針が発せられた場合は、ご対応ください。

=エントリーチェックについて=

2022年度からはweb上での上位大会エントリーチーム状況が分かりますので、2021年度までのようなエントリー表の提出は必要ありません。

また、当日の個人会員証での競技者チェックについても、ブロックごとに方法を定めて頂いて構いません。